

# スクリーン・ショット・ファイルを PC に作成

(株) アドバンテスト

## 1. 概要

本サンプルソフトウェアは、弊社スペアナ U3700/U3800 シリーズのスクリーン・ショット・ファイルを LAN 接続により直接パソコン上に作成します。(通常、USB メモリーをスペアナに装着し、最初 USB メモリーにスクリーン・ショット・ファイルをセーブし、次にその USB を PC に装着させファイルをコピーしていましたが、その操作が必要なくなります)

注意：本ソフトウェアが稼動するスペアナ U3700 のソフトウェアバージョンは、H00 以上となります。(バージョンの確認方法は取扱説明書をご参照ください) なお、確認したバージョンが H00 以前るとき、本ソフトウェアをご使用になるにはスペアナ U3700 のソフトウェアバージョンアップが必要です。弊社営業または MS(計測器)コールセンタにお問い合わせください。

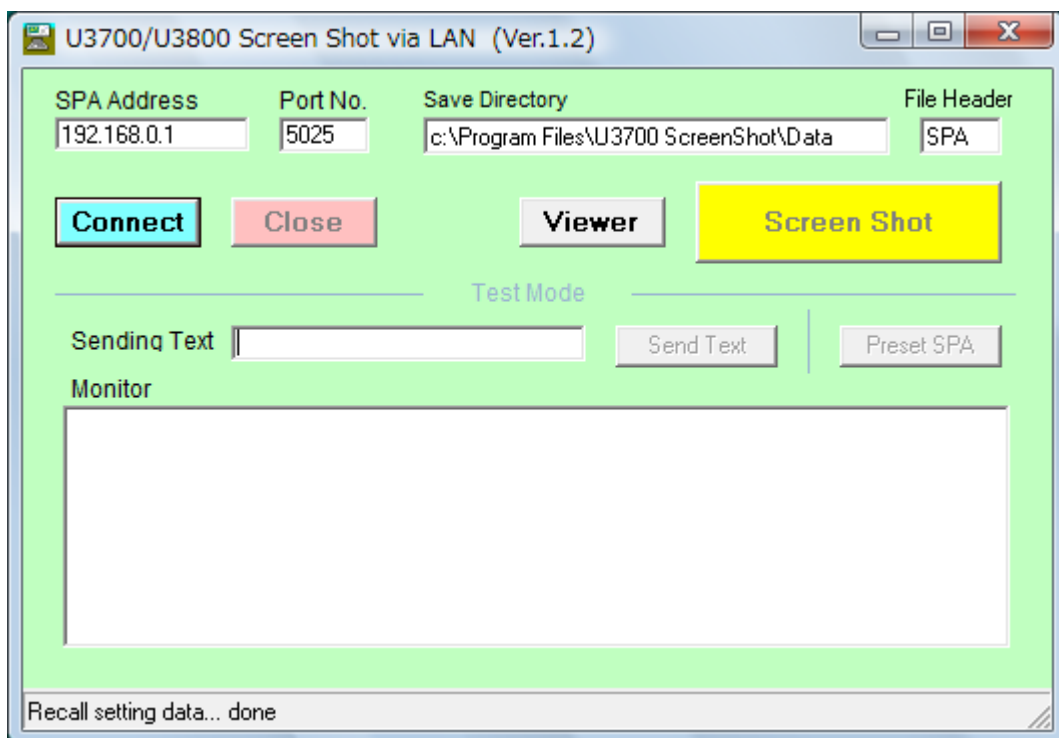
なお、スペアナ U3800 はソフトウェアバージョンの確認は不要です。

本説明書では最初にパソコンの IP アドレス、スペアナの IP アドレス、本ソフトウェアのインストールが完了しているものとして、本ソフトウェアの取扱説明を致します。

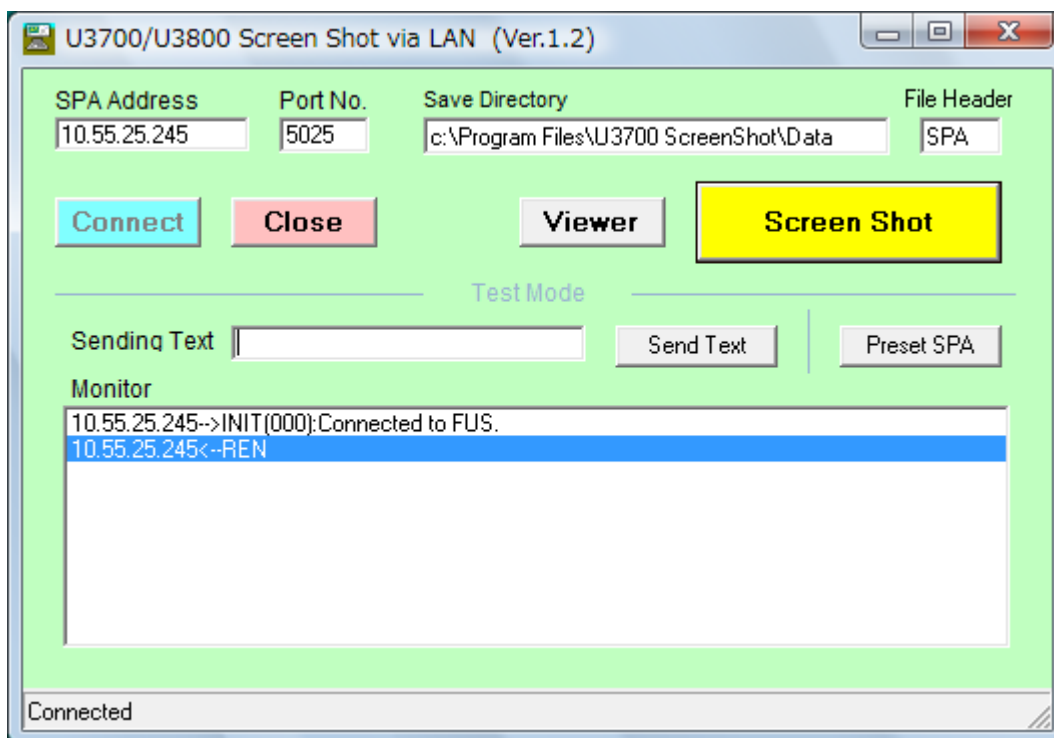
なお、IP アドレス設定等の説明は本マニュアル 6 章にあります。

## 2. サンプルソフトウェアを起動します。

- スタート プログラム → U3700 ScreenShot → U3700 (U3800) ScreenShot
- 下記の画面がパソコン上に現れます。



- スペアナの IP アドレスを確認します。(実際にスペアナに設定したアドレスとします)
- スペアナの Port No. は 5025 で固定です。変更する必要はありません。
- **Connect** を押しスペアナとパソコンの接続を確認します。(メッセージが表示されます)
- 下記の画面に変化します。(Screen Shot キーが有効となります)

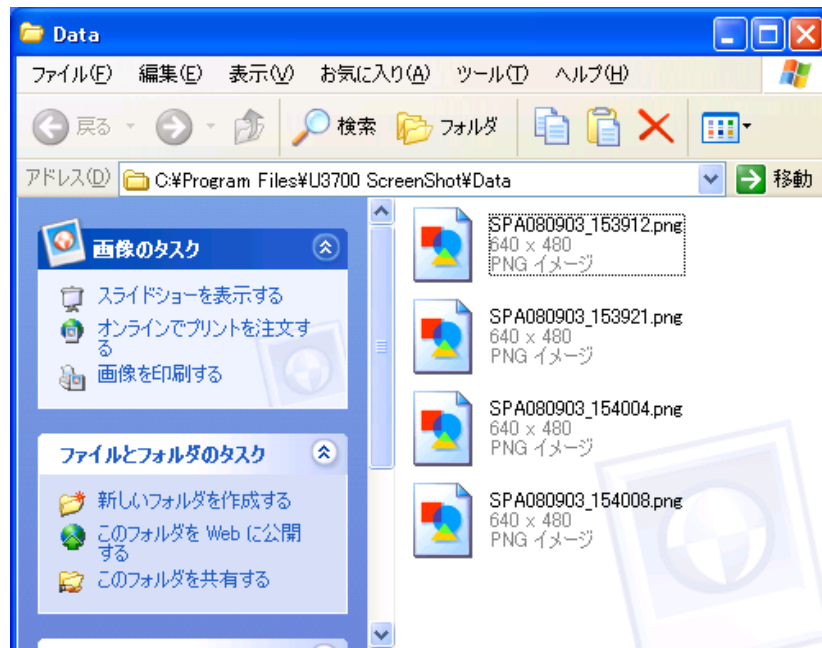


### 3. スクリーン・ショット・ファイルの作成を行う。

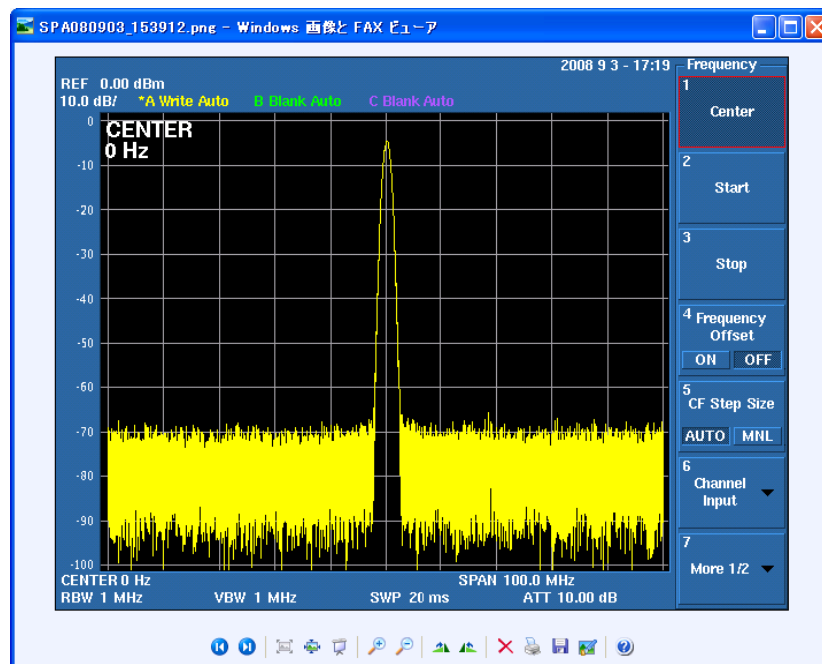
- **Screen Shot** ボタン (または **ENTER** キー) を押すと、現在のスペアナ画面のスクリーン・ショット・ファイルがパソコン上に作成されます。
- どこに作成されますか？  
**Save Directory** で指定された **Directory** に作成されます。
- 変えられますか？  
 変えられます。ただし、指定 **Directory** は存在していなければなりません。  
 (本ソフトウェアを起動する前に、パソコン自身で **Directory** を作成しておきます)
- どんなファイル名で作成されますか？  
**File Header** で指定された名前に年号、月、日、\_、時間、分、秒が付加されます。  
 (例: SPA20130101\_101030.png : 2013 年 1 月 1 日 10 時 10 分 30 秒)  
**File Header** は変更できます。

#### 4. 作成されたファイルを確認します。

- Viewer キーを押します。Data Directory の内容が見られます。



- 確認したいファイルをダブルクリックしますと、スペアナ画面が見られます。



## 5. その他の機能を説明します。

- プログラムの終了は、最初 **CLOSE** を押し LAN 接続を終了させます。その後ウインドウの **X** 印を押し、ウインドウを閉じます。  
(IP や **Save Directory** などの条件はすべて自動的にセーブされ次回ソフトウェアを起動したとき前の状態に戻ります)

### ■Test Mode について

**Send Text:** **Sending Text** に書かれた **GPIOB** コマンドをスペアナに送ります。

？をつけたときは、読み出しも行います。

ここから **GPIOB** コマンドを送信してリモートコントロールが可能です。

例：\***IDN?** を送ると、機種情報を読み出して表示します。

**Preset SPA:** スペアナを初期状態に設定します。

### ■機器のリモート、ローカルについて

スクリーン・ショットのデータを取得している間だけリモートとしています。

したがって、データ取得が完了しますとすぐにスペアナを使用することができます。そして、次の取得すべき画面になりましたら、**Screen Shot** キーを押します。

### ■スクリーン・ショットに表示されるソフトメニューの ON/OFF について

スクリーン・ショットにソフトメニューを表示するコマンドがありますが、本ソフトウェア起動時には設定していません（通常、リモート時は **OFF** 状態です）。もし、ソフトウェアメニューも表示したい場合は、**Test Mode** にて、**MNRF ON** を送ります。

なお、ソフトウェア終了時は、自動的に **MNRF OFF** を送り通常モードに設定しますので、特に **Test Mode** から **MNRF OFF** を送り必要はありません。

(パネル操作でのソフトメニューは **MNRF** のコマンドに関係なく表示されます)

(その他、**GPIOB** コマンドにつきましては取扱説明書を参照してください)

## 6. IP アドレス等の設定方法

パソコンにサンプルソフトウェアをインストールします。

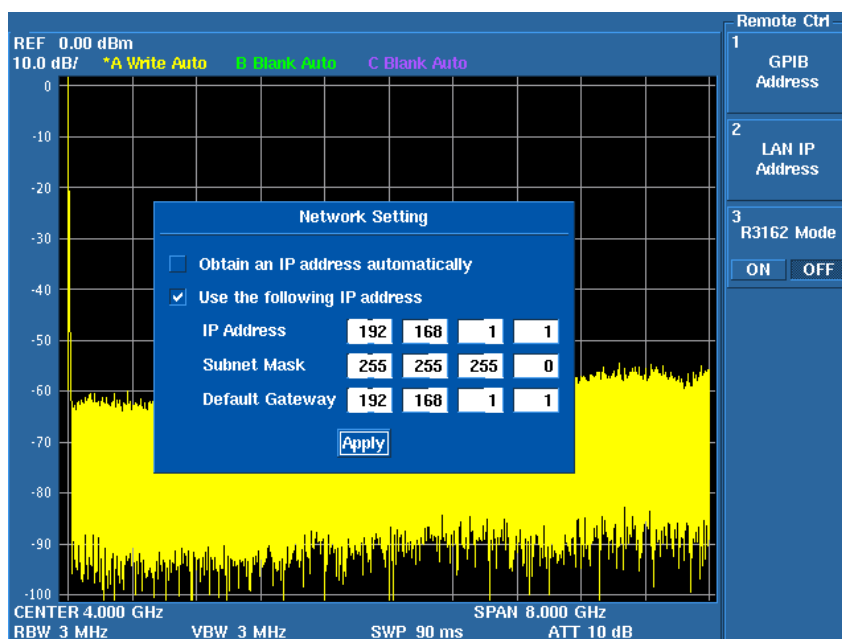
(サンプルソフトの中の **Setup** を起動させ、指示に従ってインストールします)

(インストール **Directory** は通常変更しないで下さい。条件ファイルが入ります)

スペアナ (U3700 シリーズ) の IP アドレスを設定します。

注) ケーブルはスペアナの IP アドレス等の設定が完了後、接続してください。

- パネルキーから、**SYSTEM –Remote Control –LAN IP Address –Network Setting**
- 下記の例は、1 対 1 接続 (ローカル接続) の場合です。
- LAN (WAN) に接続する場合は、アドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。

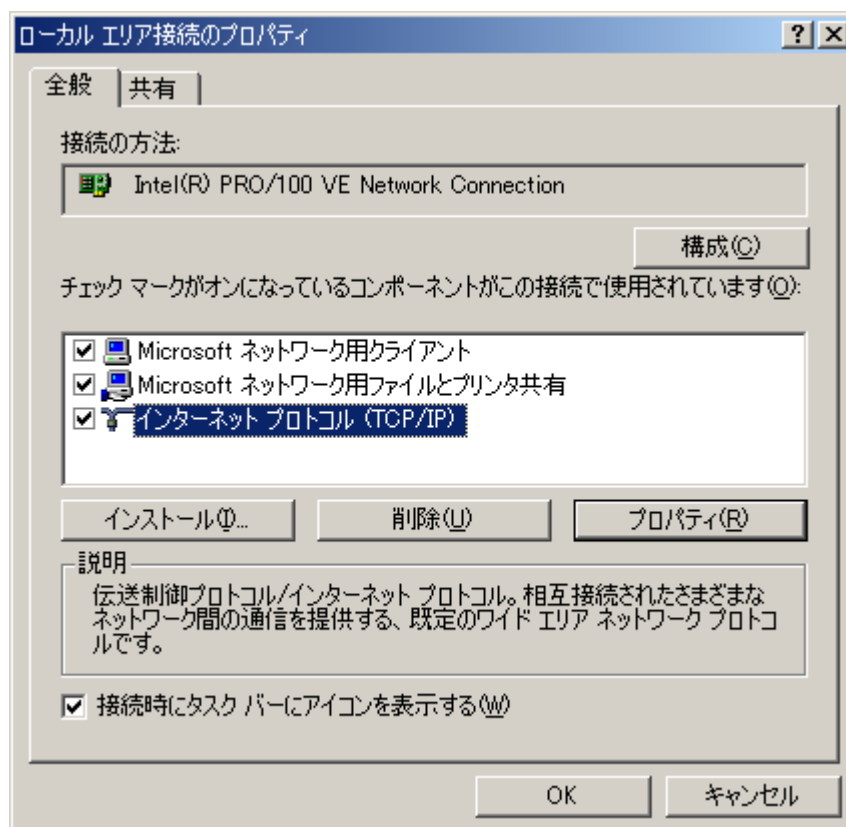


パソコンの IP アドレスを設定します。 (1 対 1 接続 (ローカル接続) の場合)

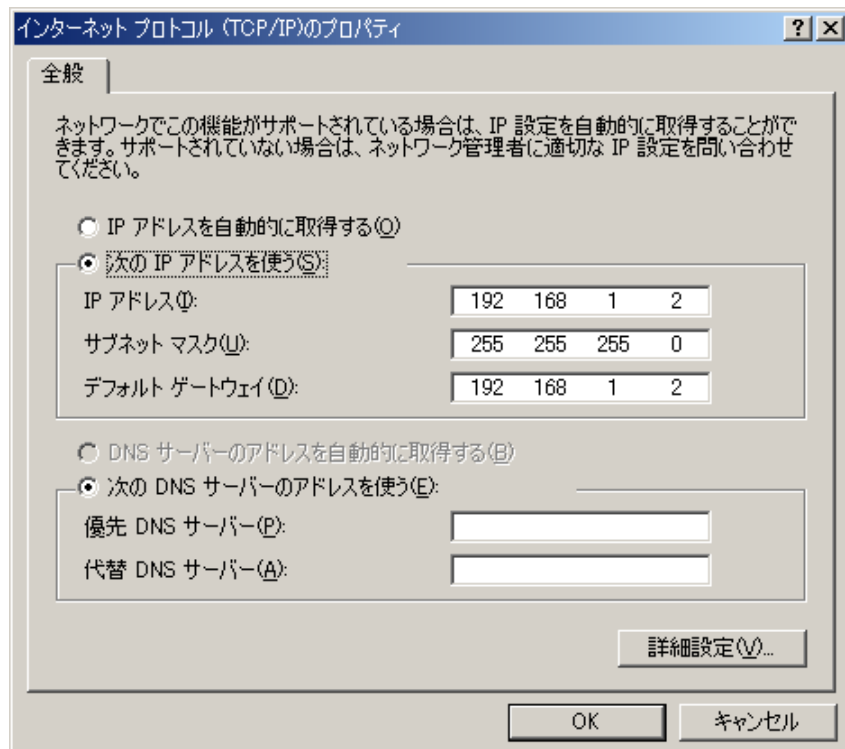
(スペアナとパソコンを両方とも社内 LAN 接続等にする場合は不要です)

- マイネットワーク (Windows2000 の場合)
  - ー 右クリック ー プロパティ
  - ー ローカルエリア接続 ー 右クリック ー プロパティ
  - ー インターネットプロトコル (TCP/IP) ー プロパティ
- IP アドレスを設定します。(スペアナ U3700/U3800 と違うアドレスにします)  
(たとえば、192.168.1.2)
- スペアナとローカル接続 (1 対 1 接続) の場合は、クロス LAN ケーブルを用意します。

インターネットプロトコルを選択し、プロパティを押します。



IP アドレスを設定して、OK を押します。



## LAN ケーブルを接続します。

- 社内 LAN 接続等の場合は、スペアナを社内 LAN 等に接続します。
- 1 対 1 接続（ローカル接続）の場合は、スペアナとパソコンをクロス LAN ケーブルで直接接続します。

## サンプルソフトウェアを起動します。

- スタート → プログラム → U3700 ScreenShot → U3700 (U3800) ScreenShot
- スペアナの IP アドレスを設定します。（Port No.は 5025 です）
- Connect を押し、接続します。

（接続が完了すると、図の表示エリアに接続メッセージが表示されます）

